

海洋環境整備船 白龍

～船の航行安全や海の環境を守る
国土交通省の船です～

船体主要目

全長: 33.5m
幅: 11.6m
深さ: 4.2m
喫水: 2.5m
総トン数: 198GT
船速: 15.1kt
建造: 平成21年2月



白龍の役割

船舶航行の安全を確保するとともに、海域環境の保全を図るため、海洋環境整備事業として、伊勢湾（約1,800km²）において、船舶航行の障害や、水質悪化の原因となる海面浮遊ごみや油の回収を実施。通常は、清掃船として海面に浮遊しているゴミの回収作業に従事し、油流出時には直ちに浮遊ゴミの回収作業を中止し、速やかに流出現場に向かい、油回収業務に従事。

1. ゴミ回収



2. 油回収



3. 環境モニタリング



「白龍」の機能紹介



1. ゴミ回収機能

浮遊するゴミは双胴間部の回収かご（スキッパー方式）で回収を行い、流木などの長尺物は両舷に設置されているグラブ式で回収し、コンテナへ格納する。



スキッパー方式 (6m³)



グラブ式 (0.99t吊)



コンテナ (容量: 25m³)

2. 油回収機能

油回収器を水面に浮かせ、ポンプで油水を吸引し油と水に分離させ、濃縮された油をタンクに回収。



油回収器



油回収訓練状況

3. 環境モニタリング機能

伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。



水質測定器

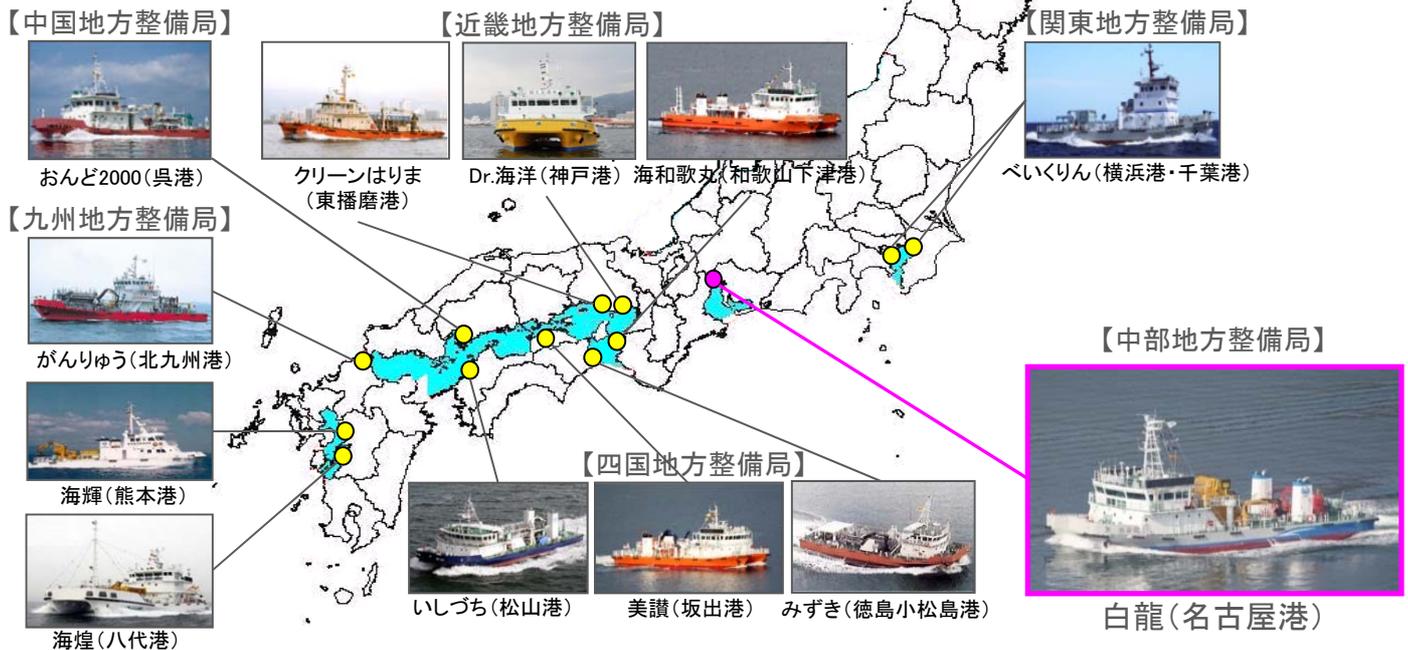


採泥器

海洋環境整備事業

地方整備局では、船舶航行の安全を確保するとともに、海域環境の保全を図るため、海洋環境整備事業として、東京湾、伊勢湾、瀬戸内海、有明・八代海の4海域(港湾区域及び漁港区域等の指定区域を除く)に13基地を配し、12隻の海洋環境整備船において、船舶航行の障害や、水質悪化の原因となる海面浮遊ごみや油の回収を実施している。

海洋環境整備船の配備図 (平成28年4月現在)



「白龍」の担務海域(伊勢湾・三河湾)



※港湾区域及び漁港区域等の指定区域を除く

「白龍」の活動実績

平成27年台風15号における流木等回収

白龍の活躍

平成27年 台風15号に伴う集中豪雨により伊勢湾内に大量流入した流木等を迅速かつ集中的に回収（平成27年8月27日～9月10日）。海上交通安全に貢献したとして第四管区海上保安本部長より感謝状を授与。



1～2mの流木をスキッパーで回収



回収流木の陸揚げ状況



第四管区海上保安部より感謝状授与

東日本大震災における災害支援

白龍の活躍

海上物流拠点の仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。



流木の回収



養殖筏や漁具類の回収



回収物の陸揚げ状況